

令和4年度 生産性向上支援訓練利用者の声

作成日：令和4年 9月16日

施設名：鹿児島職業能力開発促進センター

| | |
|---|---|
| 1 基本情報 | |
| 事業主名 | 株式会社 九飛勢螺 鹿児島工場 |
| 事業所所在地 | 〒891-0206 鹿児島市喜入生見町 5103 番地 |
| 事業内容 | ピアスビス(ドリルねじ)を始めとする各種工業用ファスナー および関連製品の開発、製造 (本社：販売) |
| 従業員数 | 106名 令和4年8月21日現在 |
| コース番号 | 22-46-10-042-017(成果を上げる業務改善) |
| 訓練実施時期 | 令和4年6月17日 |
| 2 事業主の声 (会社概要、訓練を利用した経緯・動機、訓練を利用した感想、 訓練の内容はどのように職場で活用されているか、今後の抱負等) | |
| <p>担当業務に関するスキルは身につくものの、日頃の業務に時間が取られ製造の基礎となる考えやツールが疎かになっておりました。具体的には生産の1次管理といわれる「Q(品質)C(原価)D(納期)」の視点をもって自社の問題点を解決し、顧客満足度を向上させることの重要性が少し欠如していました。</p> <p>令和3年度より管理職を中心にオーダーコースを受講させていただきましたが、受講者からの意見として『参考になった』、『また次回も機会があれば違うメンバーを受講させたい』と声があがり、今年度も同様に新管理職と次期候補者を含め、社員の知識と能力を底上げし、スキル見える化をする為にも今回のオーダーコースを利用させていただきました。</p> <p>訓練で学んだことを継続的に実施するために、製造部長、各製造課長が中心となって定期的に会合を開いており、グループワークを通して現場に潜在している問題点のを見つけ方、解決の糸口を見いだすなど、少しずつではありますが成果がでていいる事を実感しております。今後は当たり前となっている作業を見つめ直し、生産現場のあらゆる工程に対応した、オリジナルの省力化と自動化を目指し業務の効率化と生産性の向上を考えています。</p> | |
| 3 受講者の声 (訓練を受講した感想、訓練で習得したことをどのように業務に活用しているか、今後どのように活用していきたいか等) | |
| <p>この訓練を受けてどのように業務に活かしますか？セミナーを受講する冒頭で先生から言われた一言が、今でも頭に残っています。これまでも業務改善に関するセミナーは数回受けており、考え方やスキルはなんとなく身に付いていましたが、「どのように？」と言われると答えが出ませんでした。受講後の私の考えは、お金をかけてでも大きい効果のある改善の考え方から、まずは人の問題に着目し従来からのやり方や習慣の中にあるムダやムリの改善を行う。その中から出た利益で大きい改善と効果を狙っていく。というような考え方になりました。実際に課やグループ単位でもこの動きが浸透しており、改善内容の情報共有や水平展開にも繋がって来ています。今後どのように活かすか！ 大事な気づきを教えてもらいました。</p> | |